

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	2050 ゼロカーボンみのわ推進事業
事業主体 (連絡先)	箕輪町役場 住民環境課 生活環境係 上伊那郡箕輪町大字中箕輪10298
事業区分	(5) 環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード事業
総事業費	2,915,839 円 (うち支援金: 2,115,000 円)

事業内容

箕輪町では、令和3年度から新事業「2050 ゼロカーボンみのわ推進事業」を開始。その第一歩とし、住民の皆様、長野県気候危機突破方針、地球温暖化、ゼロカーボン及びSDGsを分かりやすく説明し理解度を向上させライフスタイルの変容を促すため大手スーパー等との連携協力により啓発活動を実施した。

- ・時期 令和3年8月～令和4年1月(期間内計11回)
- 場 所 町内スーパー5店舗
- 意識調査(環境意識アンケート) 回答 1,201人



【アンケートの様子】

【目標・ねらい】

- ①町民の環境問題の認知度・理解度の向上によるライフスタイルの変容
- ②町民の環境問題への意識調査

事業効果

①支援金を活用し、エコバックやフードクリップなどの環境啓発グッズを配布することで町民の環境問題に対する認知度・理解度が向上し、ライフスタイルの若干の変化を実感している。

②直接啓発世帯数(400世帯×11回 延べ4,400世帯)

③意識調査(環境意識アンケート) 回答者1,201人

④町内スーパーとの連携

普段、行政とあまり関わりのない町内スーパーを巻き込み啓発イベントを実施することができた。

※自己評価【B】

【理由】

- ・町内スーパーを巻き込んだ新たな取り組みの実施。
- ・啓発活動、意識調査を通して住民の環境問題への認知度・理解度の把握
- ・ライフスタイルに大きな変化をもたらすところまで届かなかった。

今後の取り組み

今回の事業では「ライフスタイルの変容」までを目標としていたが至らず、意識調査を通じて「環境問題の認知度・理解度」の把握までとなってしまった。それを踏まえ来年度以降は7月に実施予定の「ゼロカーボンシティ宣言記念キックオフイベント」を皮切りに、認知度・理解度の低かった「長野県版エシカル消費」「ゼロカーボン」の啓発などを積極的に行うことで、住民の環境問題に対する意識を向上させ、ライフスタイルの変容を図っていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある